

令和元年度 特別テーマ展関連講座

第3回講座  
講義6

山形県内の縄文時代中期後半の  
炉と土器の変遷

菅原 哲文 氏 (公財)山形県埋蔵文化財センター

令和元年7月14日(日)

会場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館研修室

## 山形県内の縄文時代中期後半の炉 と土器の変遷



山形県埋蔵文化財センター 菅原哲文

### 中期後半(特に中期後葉・末葉)の縄文土器 の変遷

- 土器型式一時間差・地域差を示す年代学上の単位
- 東北地方南部の縄文時代中期の土器として、大木式土器が型式設定されている。
- 宮城県七ヶ浜町大木冨貝塚の発掘調査により山内清男により設定。
- 今回は、中期の終わり頃、大木9式、10式土器が対象。

## 大木9式土器

### 小国町下野遺跡の資料

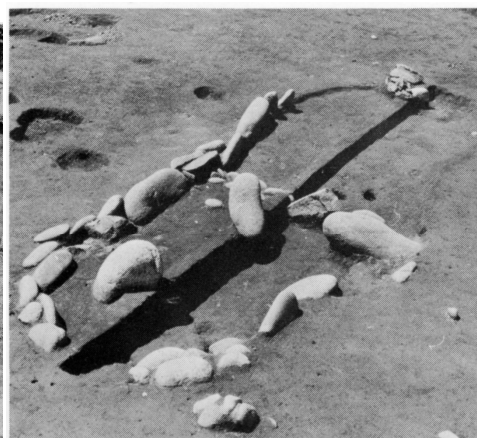


## 大木9式の時期の炉跡の様相

### 小国町下野遺跡 大木9式古段階の炉跡

#### ST2住居跡

#### 炉跡

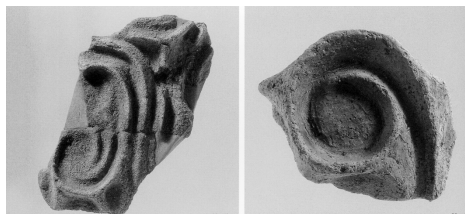
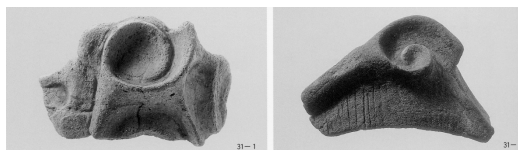
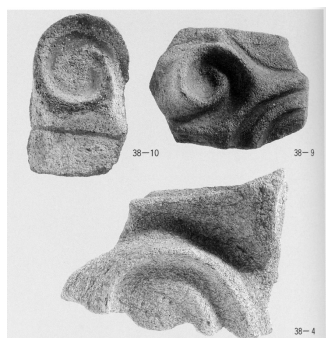


大木9式古・中段階

南陽市百川田遺跡

古段階

中段階

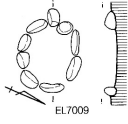


大木9式新段階

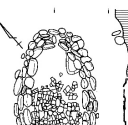
南陽市百川田遺跡



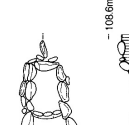
### 中期後半の炉の変遷(西海淵遺跡の例)



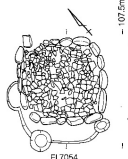
石囲炉  
1期



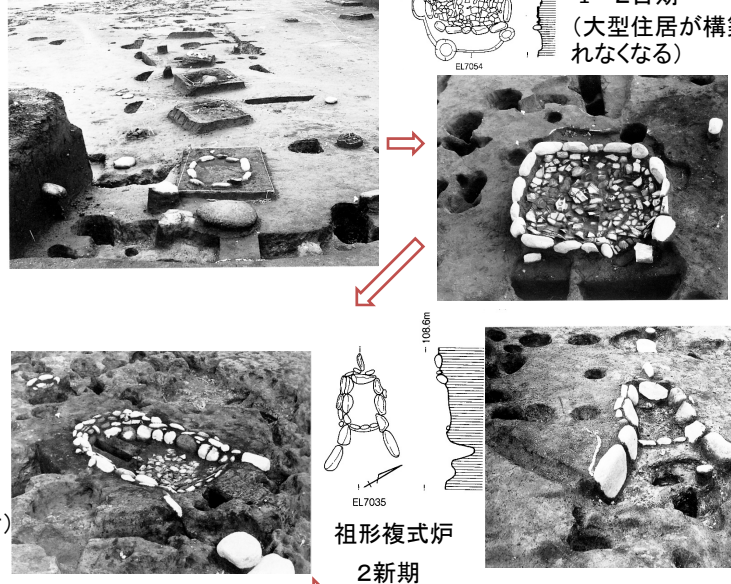
石囲炉(袖石付)  
2古期



祖形複式炉  
2新时期




土器敷石囲炉  
1~2古期  
(大型住居が構築されなくなる)



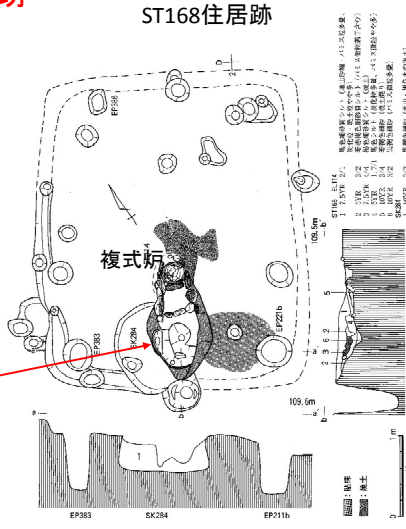
### 大木9式期(中・新)の住居跡

- 各住居跡に「複式炉」が備えられる。

複式炉は複数の部分で構成される  
土器埋設部・石組部・前庭部



遺跡で最も新しい時期の炉  
(複式炉)



規模—4m×3.4m

## 大型住居跡と複式炉

鮭川村小反遺跡

ST5 竪穴住居跡

- 5角形・直径9.39 × 8.88m、  
8本柱
- 複式炉は埋設土器を2基  
並列

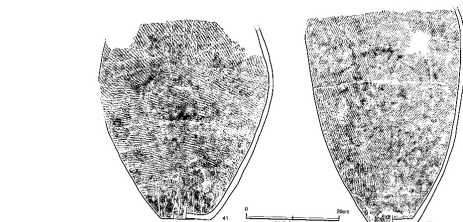


## ST5住居跡の複式炉(大木9式新段階?)

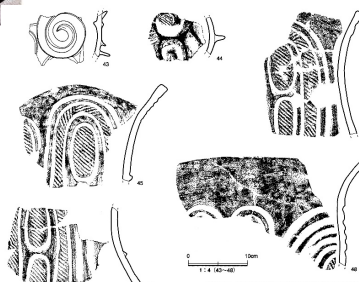


最大長—3.9m、  
幅2.9m

覆土出土土器



炉埋設土器



第47図 竪穴住居ST5とその複式炉E.L.306出土土器

## 小反遺跡ST2住居跡と複式炉

竪穴住居ST2

規模5.6m、炉2.3m × 1.45m

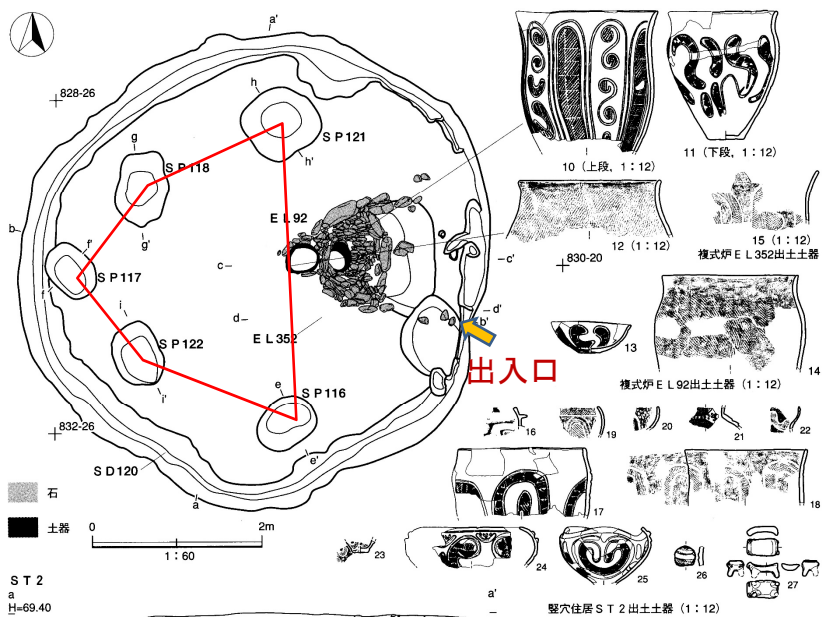


竪穴住居ST2 (東から)



複式炉EL92 (東から)

## 小反遺跡ST2住居跡と複式炉



## 中期終末の縄文土器—大木10式土器

古・中・新段階の変遷が確認される。

### 古段階

特徴—主に沈線で区画された、「e」・「U」・「S」字状の磨消縄文による文様が見られる。体部には沈線などによって、上の文様部分と区画する線が出現する。

### 中段階

文様は、稜線に沈線を添わせるものが多くなる。横方向に展開する傾向が強くなり、波頭文、雁又文、楕円文などの文様がある。

## 縄文中期後葉・末葉の集落と複式炉

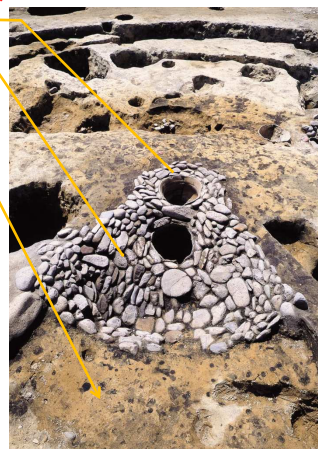
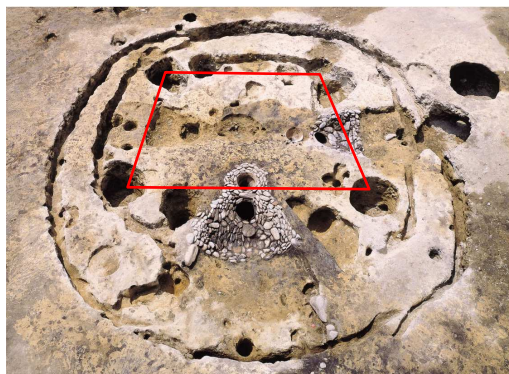
「複式炉」とは

- 土器埋設部・石組部・前庭部など複数の施設をもつ大型の炉。中期後葉に出現し、後期に消滅する。
- 東北地方南部を中心に、北東北や北関東、北陸にも広く分布する。
- 中期の大木9式期に「複式炉」を備える住居が出現する。集落の規模や構成が大きく変化。
- 中期前・中葉で見られた、長方形の大型住居（ロングハウス）は消滅する。

## 複式炉(鮭川村小反遺跡)

・基本的に、土器埋設部+石組部+前庭部で構成される。

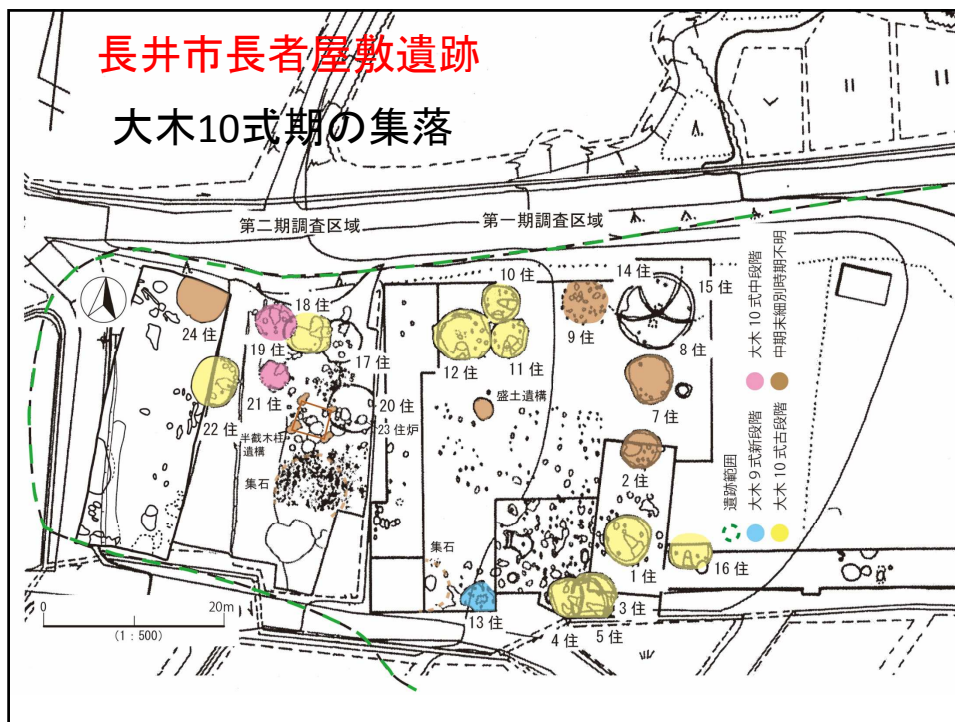
・炉を中心とした柱配置と住居構造(3・4本柱など)



## 長井市長者屋敷遺跡

大木10式古・中段階を中心とする集落跡





大木10式古段階 長者屋敷遺跡18号住居



大木10式古段階 長者屋敷遺跡16号住居



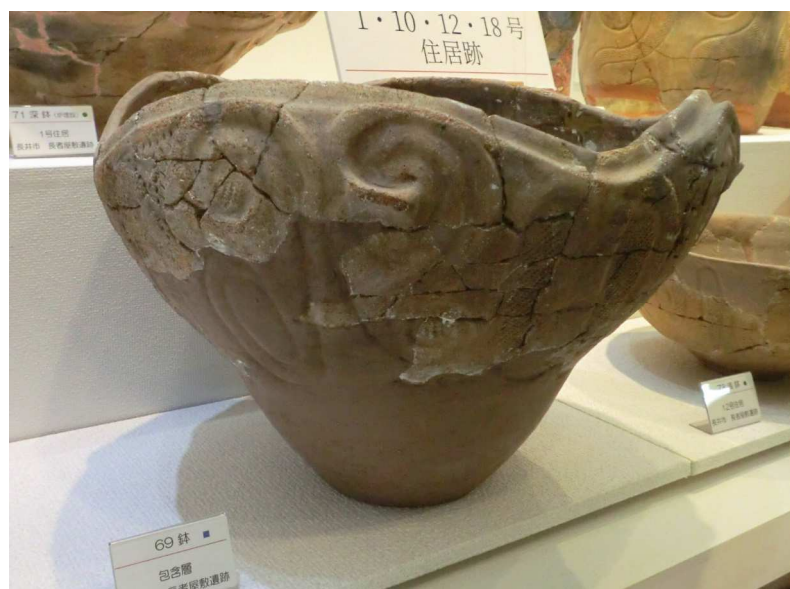
大木10式中段階 長者屋敷遺跡19号住居



大木9式新段階 長者屋敷遺跡



大木9式新段階 長者屋敷遺跡



大木10式古段階 長者屋敷遺跡1号住居



大木10式古段階 長者屋敷遺跡18号住居



大木10式中段階 長者屋敷遺跡の土器



## 大木10式中段階 長者屋敷遺跡の土器



## 中期末の他地域の土器 長者屋敷遺跡

### ・加曾利EIV式土器

主に関東地方で作られている土器

・地元の大木10式土器に類似した文様あり



・北関東や南東北などで作られ、運ばれた？

・長者屋敷遺跡で作られた？



大木10式古段階の炉 高畠町宮下遺跡



大木10式古・中段階 高畠町宮下遺跡

大木10式古段階炉埋設土器

大木10式中段階



大木10式古・中段階 高畠町宮下遺跡

注口土器(鉢形)

小型土器(注口土器)



大木10式古段階 花沢A遺跡4号住居炉

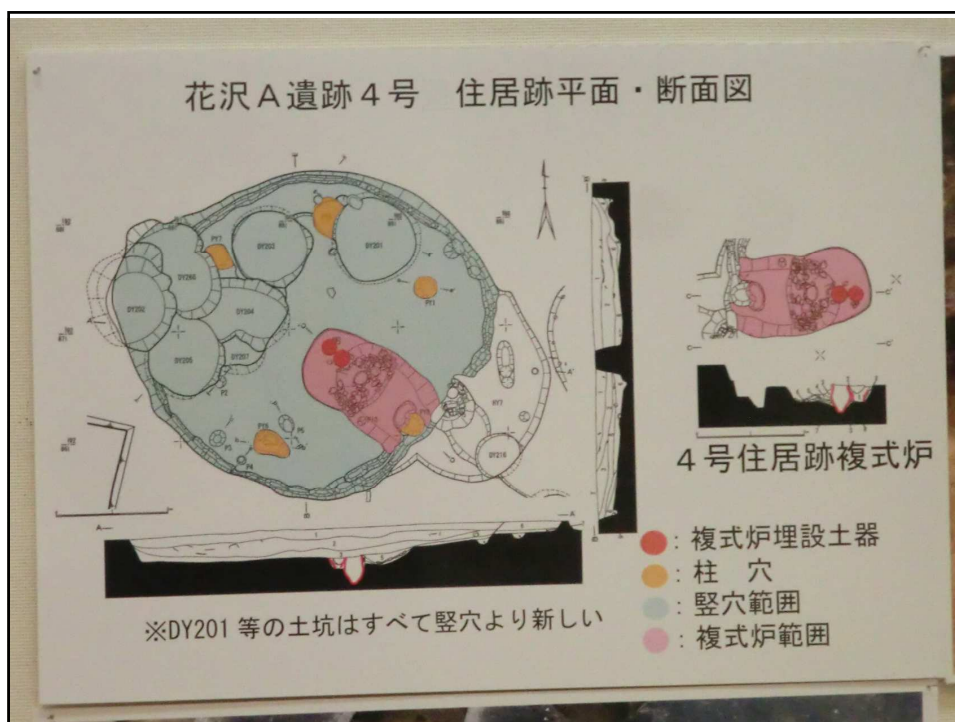


大木10式古段階 花沢A遺跡4号住居炉



大木10式古段階 花沢A遺跡4号住居跡





### 大木10式中段階 米沢市花沢A遺跡



大木10式中段階 米沢市花沢A遺跡



大木10式中段階 米沢市花沢A遺跡

・台付鉢

・注口土器



## 大木10式土器 米沢市花沢A遺跡

・把手付き土器

内面に赤色顔料、特殊な用途



## 大木10式新段階 山形西高敷地内遺跡 の竪穴住居跡

- 直径約4mと住居規模は小さい
- 住居跡に備えられる複式炉も小型。
- 同じ場所に何回も建て替えられる。



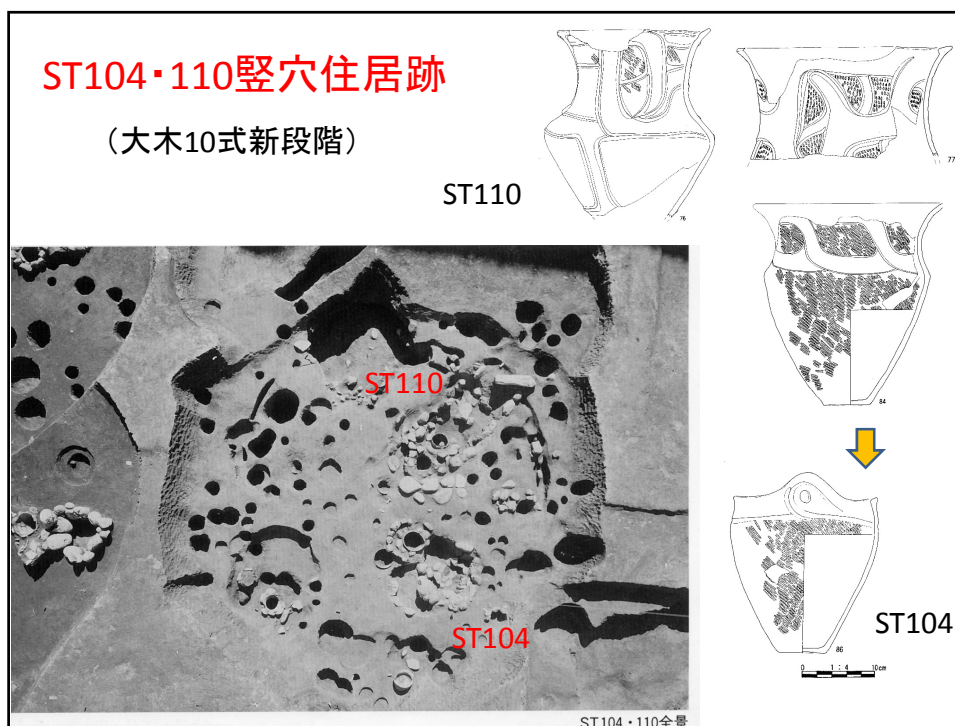
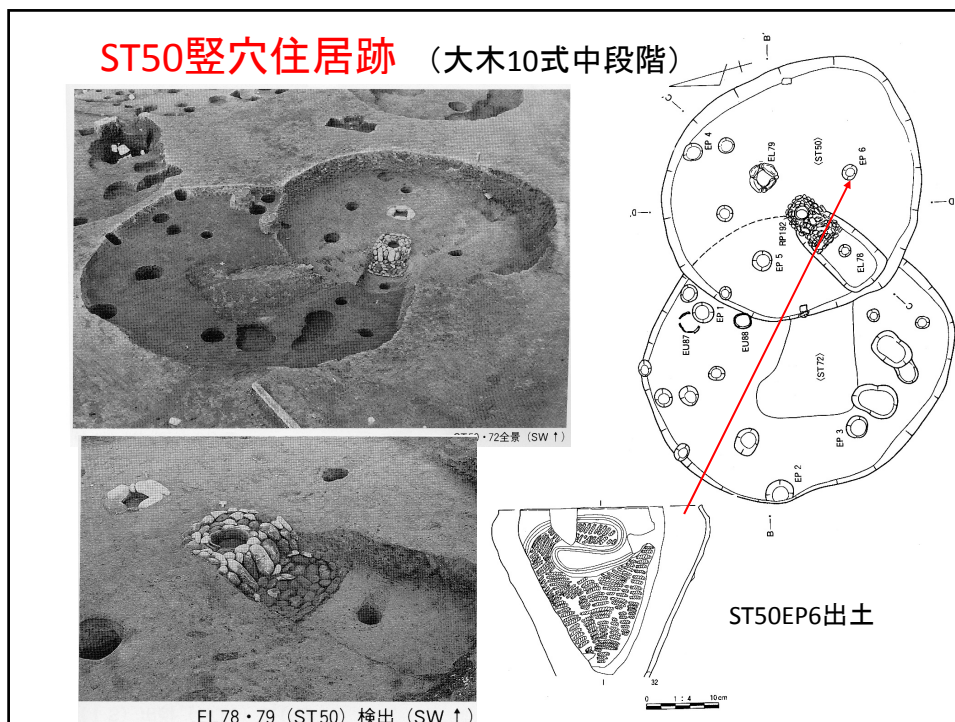
ST46・85・95全景 (S↑)

ST46・85・95竪穴住居跡

ST38竪穴住居跡



EL66 (ST38) 検出 (N↑)



## 大木10式新段階 西高敷地内遺跡の出土遺物

- 複式炉の時期の土偶出土は少ない。6点出土  
→土偶を用いる祭りの変化や衰退？
- 注口土器の発達→調理方法や生活の変化？

